

CASBEE[®]-不動産【物流施設】評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-不動産【物流施設】(2021年SDGs対応版) v1.2.2

建物概要						
建物名称	LOGILAND羽生Ⅳ	敷地面積	10,773	m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	埼玉県羽生市	建築面積	6,010	m ²	評価の実施日	2024年12月10日
用途地域	地域指定外、防火指定外	延床面積	17706.76	m ²	作成者	米田 拓朗
建物用途	物流施設	階数	地上3F		不動産評価員番号	ふ-001471-29
竣工年月	2023年6月21日	構造	RC造		確認日	2025年1月8日
直近の大規模改修実施年月	-	平均居住人員		人	確認者	米田 拓朗
		年間使用時間		時間/年	不動産評価員番号	ふ-001471-29

評価結果						
74.4 /100		合計		S ランク:★★★★★	Ⅲ	78
(得点 / 満点)				A ランク:★★★★	Ⅲ	66
				B+ランク:★★★	Ⅲ	60
				B ランク:★★	Ⅲ	50
ポイントは小数点第1位までの表示とする						

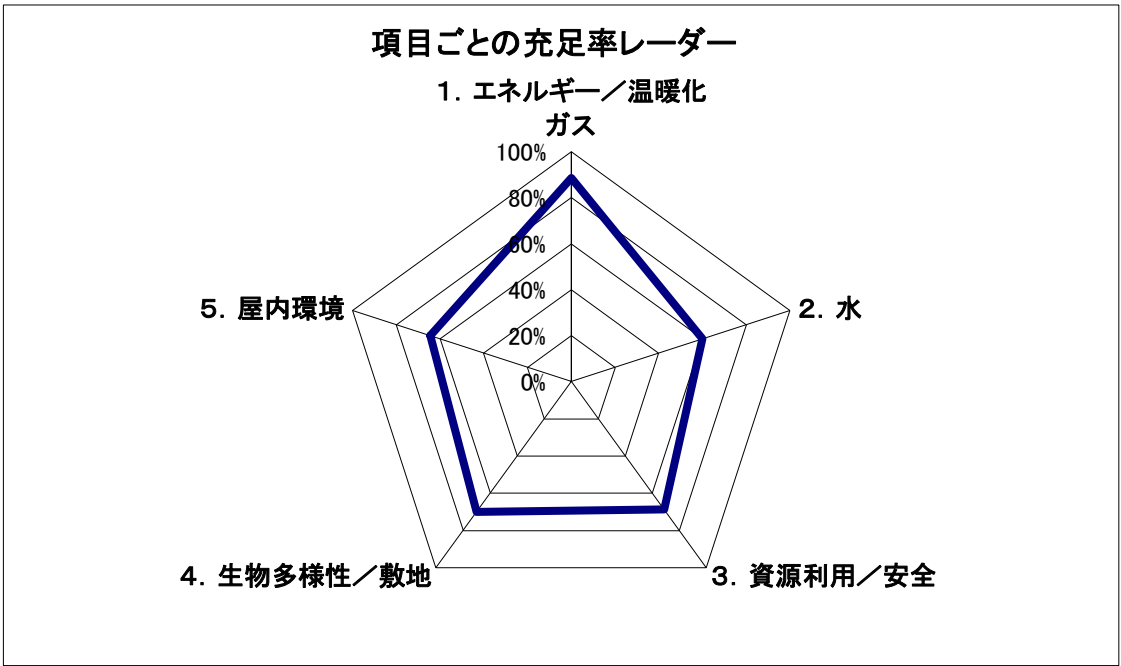
1. エネルギー／温暖化ガス						
評価	最大加点		指標	(*は参考値)	評価値	
適合		必須項目	:省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制			
1.0	加点 1	根拠等	省エネ基準適合、年間実績を把握、ベンチマーク比較実施、次年度省エネ目標設定、テナントと共同で省エネに取組み		一次エネルギー(目標値)	MJ/m ² ・年
20.0	20	1.1 使用・排出原単位(計算値)	実績値より		一次エネルギー(計画値)	— MJ/m ² ・年
		根拠等			二次エネルギー(*)	— kWh/m ² ・年
					CO ₂ 排出量(*)	— kg-CO ₂ /m ² ・年
5.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値)	実績値より		水道光熱費	383.3 円/m ² ・年
		根拠等				
2.0	5	1.3 省エネルギー(仕様評価)	省エネ計算対象外の倉庫エリア等			
		根拠等	1)、5)		導入された対策項目数	2.0 項目
3.0	5	1.4 自然エネルギー				
		根拠等	導入していない		利用率	— %
31.0	35	合計				

2. 水						
評価	最大加点		指標		評価値	
適合		必須項目	:目標設定、モニタリング、運用管理体制			
	0	根拠等	水消費実績を把握、次年度省エネ目標設定		水使用量(目標値)	— L/m ² ・年
6.0	10	2.1 水使用量(計算値)	評価しない			
		2.2 水使用量(仕様評価)	1)、2)		水使用量(計画値)	— L/m ² ・年
		根拠等				
	0	2.3 水使用量(実績値)	評価しない			
6.0	10	合計				

3. 資源利用／安全						
評価	最大加点		指標		評価値	
適合		必須項目	:新耐震基準への適合またはIs値、If値			
	5	根拠等	新耐震基準に適合		なし	
3.0		3.1 高耐震・免震等	3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価			
3.0		3.1.1 耐震性				
		根拠等	建築基準法に定められた耐震性を有する			
3.0		3.1.2 免震・制震・制振性能				
		根拠等	導入していない			
4.0	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理負荷抑制				
		3.2.1 再生材利用率	①と②の平均で評価する			
3.0		① 躯体材料	使用していない			
5.0		② 非構造材料	リサイクル材を使用している		リサイクル材品目数(非構造材)	5 品目
		3.2.2 廃棄物処理負荷抑制	評価しない			
3.0	5	3.3 躯体材料の耐用年数				
		根拠等	建築基準法に定める対策が講じられている		経過年数＋今後の想定耐用年数	— 年
3.7	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔／設備の自給率向上／維持管理／バリアフリー	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均			
4.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔				
		根拠等	計算式参照		更新年数の平均値	23 年
4.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上			自給率向上の取組数	3 項目
		根拠等	1)、2)、3)			
4.0		3.4.3 維持管理			維持管理に関する取組数	9 ポイント
		根拠等	1)、3)、4)、5)			
3.0		3.4.4 バリアフリー対策				
		根拠等	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準項目のすべてに適合している			
13.7	20	合計				

4. 生物多様性／敷地						
評価	最大加点		指標		評価値	
適合		必須項目	:特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない			
	10	根拠等	特定・未判定外来生物、生態系被害防止外来種を使用していない		なし	
8.0		4.1 生物多様性の向上	1)、3)		②取組表による場合のポイント数	2 ポイント
		根拠等				
0.0	0	4.2 土壌環境品質・ブラウンフィールド再生				
		根拠等	土壌汚染対策法に基づく汚染除去等の区域指定にない		なし	
2.0	5	4.3 公共交通機関の接近性				
1.0		4.3.1 公共交通機関の接近性				
		根拠等	レベル3に達しない		鉄道駅またはバス停からの距離	— 分圏内
3.0		4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮				
		根拠等	2)		取組数	1 項目
4.0	5	4.4 自然災害リスク対策				
		根拠等	該当リスクが2種で、1種に対して有効な防災対策を実施している		リスクの合計数	2 種類
14.0	20	合計				

5. 屋内環境						
評価	最大加点		指標		評価値	
適合		必須項目	:建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合			
		根拠等	質問票への適合		なし	
1.6	5	5.1 屋光利用	5.1.1の点数×2/3＋5.1.2の点数×1/3			
1.0		5.1.1 自然採光				
		根拠等	計算式参照		開口率	別紙による %
3.0		5.1.2 屋光利用設備			屋光利用設備	— 種類
		根拠等	屋光利用設備がない			
4.0	5	5.2 自然換気性能				
		根拠等	計算式参照		自然換気有効開口面積	別紙による m ²
4.0	5	5.3 眺望・視環境				
		根拠等	事務室の天井高2.7m以上、すべての執行者が十分な屋外の情報を得られるように窓が設置されている		天井高	2.7 m以上
9.6	15	合計				



環境性能の特徴

- ・省エネ性(エネルギー消費・節水)が高い建物である。
- ・新耐震基準を満たしている。
- ・再生材利用への配慮がなされている
- ・敷地内の生物多様性向上に取り組んでいる。
- ・自然災害リスクが少ない。
- ・電力等の自給率向上対策や維持管理が適切に行われており、屋内環境も比較的良好である。
- ・バリアフリーへの対策も取られている。

評価機関、評価員記名欄

認証機関記名欄